

2022年2月6日(日) F-ACTOR の会 Zoom 研修会  
つながる先に見える可能性と役割  
～医療と福祉の垣根を越えて～

時間：13：30～16：00

参加申し込み者数：50名（内役員15名）

参加Zoomアカウント数：44（内役員14アカウント）

アンケート結果（アンケート回答数 18件：回答率 60%）

1. 研修会に参加しての満足度はいかがでしたか(18件)

・とても満足できた	9	(50%)
・まあまあ満足できた	8	(44.4%)
・あまり満足できなかった	1	(5.6%)
・全然満足できなかった	0	

2. 上記の理由を教えてください(17件)

- 福祉の立場からの話を伺う事ができ、対象者主体の考えが共通していることや、連携を図りたいところは、同じだと理解してする事ができました。
- それぞれの立場からお話頂いて参考になりました。もう少し講師の方の内容に統一感が欲しかったです。
- 多くの困難事例から学びました。
- 事例を基に分かりやすく説明して頂いたため。
- いろいろなケースの話や各事業所の取り組みを知ることができたから
- みなさん同じような視点で話ができただから
- 時間調整、ディスカッションではもう一つ遠慮がち
- 医療と福祉の連携については看護の分野で非常に弱いところがあります。知識不足や連携が形になっていないところが問題です。今後今回の皆さんの活動を参考に自部署での改善に力を入れていければと考えています。貴重な研修会を開催していただきありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします。
- 当事者の方を支えるためには、医療と福祉の連携は必要不可欠であり、そのあり方を改めて考えることができる時間となり、とても有意義でした。ありがとうございました。
- 改めて医療と福祉の繋がりについて様々な立場の人々からの声を聞いたことに感謝です
- どうすれば連携がうまくいくのか、また、連携がうまくいかない要因は何かを提示してほしかった。
- 医療・福祉のそれぞれの立場からお話が聞けたのは良かった。時間制限もあると思うが、シンポジスト同士でのディスカッションがあっても良かった。
- 多くの事業所の現状や連携についてよく理解できましたが、ディスカッションの時間が短くもう少し取ればご意見も多くいただけたと思います
- 県内各地で地域生活支援を実践されている皆さんの話を聴くことができたので、とても有意義な時間でした。
- 他の地域での医療と福祉の連携の現状と特に個人的に他の自立生活援助事業のお話を聞いたこと

が貴重な経験でした。

- それぞれの立場での支援内容、地域ごとの社会資源を情報収集することができました。
- 頑張っている方々の存在を知ることができた。今後、さらに県全体の支援の充実を図っていかなければならない。

### 3. シンポジストの発表についてのご意見や感想をお書きください(13件)

- とても皆さん参考になりました
- テーマに沿って分かりやすく発表して下さいありがとうございます。医療と福祉のそれぞれの立場でどのような支援を行っているのか、具体的に教えて頂きましてありがとうございました。
- 皆様 ありがとうございます。大変勉強になりました。
- みなさんわかりやすかったです。
- いずみ会での支援で入居者が約100人に上るといことはとても偉いと思った。
- さまざまな機関、職種のシンポジストの皆さんのそれぞれのお立場からの貴重なお話を聞かせていただき、とてもためになりました。今後活かして行きたいです。
- 日頃からの医療と福祉、訪問看護と自立生活援助事業担当者との報告や支援についての共有の大切さを感じました。
- 連携には、個々のケースによって主体となる、職種や機関があると思うので具体的に提示してもらえると実際の場面で役立てると感じた。連携を行う中で、医療から福祉に希望すること、福祉から医療に希望することなどの内容があるとよかったと思う。
- 皆様分かりやすく、事例が用いられていたのも、イメージしやすかった。
- データとしてまとまっていたり、事例についてよくわかりました
- 事例を用いた発表だったので、利用者さんとの関わりや支援についてわかりやすい内容でした。
- 素晴らしい活動を聞かせていただいた。
- 訪問看護と相談支援事業所の担当者間で何かあってもなくても日頃から連絡を取って確認合っている様子が印象的でした。今後に向けさらに繋がっていける気持ちにさせて頂けた研修会でした。

### 4. 質疑応答・ディスカッションについてのご意見や感想をお書きください(13件)

- 短い時間でしたが良かったです。
- 実際に費用などがどのようになっているのか分からなかったため、ディスカッションを通して理解することが出来ました。
- もっと、積極的に意見を出せばよかった。もう少し一つの話で参加者の意見が聞ける時間があればいいと思いました。
- 仕方ないですが、やはりディスカッションの時間は短くなってしまいますね。
- リアクション(挙手)の利用や、時に進行役からの無茶振り等も必要(好みによるけど)
- 同上
- ディスカッションの時間が短かった。もっと参加者の意見を聞きたかった。
- シンポジスト同士、あるいは、テーマを決めてディスカッションも良かったかもしれない。
- 例えば、連携のツールはどうしている？(電話、メール、対面、書面など)、医師との連携は？お金の管理、家族支援はどうしている？など…。相談支援専門員やケアマネも参加できると深まるかもしれないと思った。
- 時間がもう少し長く取れればよかったと思います。訪問看護以外でも自立生活援助などのサービスが増えてゆけば運営上のコストの問題はあるかもしれませんが皆で支えて行ける安心感があると

思いました。

- サービス内容はかぶっていても報酬の出所が医療保険、介護保険、自立支援費(こちらはすべて税金になりますか?)と変わって分散してくれば国としても喜ばれるのかとも感じました。
- また、医療が細分化・専門化されて再び総合医療診療科ができたので、福祉サービスのほうでも初めから相談支援やケアマネジャーがサービスを総合的にコーディネートできるようになって行ければよいと思いました。やはりその分負担は大きくなるので皆さんでよい連携は必要となりますね。
- 支援の目的を共有することが非常に大切だと感じました。医療機関のPSWとして、地域支援事業所の皆さんと連携を図る際に心掛けていきたいと思いました。
- 雰囲気良かったのでお時間が押して短くなったのは残念でした。
- 今後につながる議論をしたかった。
- ディスカッションの時間は限られていましたが、朝生会長はじめ支援の方向性を確認し合っておくことなどシンポジストのお話を踏まえて考えを整理する時間となりました。遠隔でしたので、時間にとらわれず、各シンポジストのお話をじっくり聞いたことで今回はよかったと思います。

## 5. 今後のF-ACTORの会に期待すること、ご要望などございましたらお書きください(8件)

- 精神疾患と身体疾患を併せ持つ方の支援をどのように行っているのか(病院間の連携等)を教えてくださいたいです。
- 今後も、定期的の開催お願いいたします。
- 福祉の勉強会をして欲しいです。
- 行政を巻き込み「にも包括」を改めて共有してもらいたい。
- いつも有意義な時間をいただき、また参加させていただきたいと思っています。
- 親亡きあとについて、経済面や権利保障などについて専門家との連携をされている事業所があれば、話を聞いてみたい。例えば、後見人、弁護士など。金銭、土地建物などをどのように管理あるいは手放すのか。判断能力がある方に関しては、誰とどのように取り組めばよいのか、家族の支援が期待できない、独り身の方など、どうしているのか知りたい。
- 今後もこのような機会には是非参加させていただきたいです。
- 県や圏域の「にも包括」の活動との連携を！